

研究開発支援拠点 MieLIPの活動が始まりました!

研究開発支援拠点である「みえライフイノベーション推進センター(MieLIP)」が、経済産業省の支援を受けて、本年9月に三重大学、鈴鹿医療科学大学白子キャンパス等県内7カ所に設置されました。このMieLIPを中心とした県内企業や大学、市町などと連携した、地域の特色を生かした研究や製品開発の取り組みが始まっています。

[MieLIP 7拠点の目的]

県内の産学官民ネットワークの体制強化、企業等の新分野への進出や研究開発の支援、製品の販路開拓支援などをすることで、県内の医療・健康・福祉産業を振興し、経済の活性化をめざします。

各MieLIPでは以下のような研究会・セミナーを予定しています。

医療・健康・福祉分野の多岐にわたるテーマで開催されますので、ぜひご参加ください！

この他にも、新製品開発に向けた専門家派遣による技術支援、販路開拓のための市場調査や展示会への出展も行います。詳しくは、各MieLIP連絡先までお問い合わせください。

● MieLIP 7拠点の取り組み概要と開催予定の研究会・セミナー

MieLIP セントラル（三重大学）

取り組み概要

MieLIP セントラルでは、三重大学の研究シーズの提供や構築されている臨床研究・共同研究体制を活用し、県内をはじめ、国内外の企業、研究機関と連携し、医薬品や医療機器等の研究開発を進めるとともに、MieLIP 地域6拠点の活動支援、MieLIP で創出された製品等の国内外への販路開拓等に取り組みます。

研究会・セミナー

- ・許認可戦略研究会及びセミナー
- ・新事業創出研究会及びセミナー
- ・海外連携研究会及びセミナー
- ・MieLIP セントラル・コンソーシアム研究会及びセミナー
- ・生物資源有効活用研究会
- ・福祉用具・ものづくり研究会
- ・電子システム研究会
- ・産業看護学研究会
- ・医療機器開発のための PMDA 講演会及び薬事戦略相談会
- ・みえライフイノベーション総合特区フォーラム
- ・MieLIP 平成25年度成果報告会

連絡先

三重大学社会連携研究センター TEL: 059-231-5365

MieLIP 鈴鹿 (鈴鹿医療科学大学)

取り組み概要

MieLIP 鈴鹿では、大学や企業とともに医療機器、介護支援ロボット、周辺機器等の開発や高度リハビリ技術の開発、医薬品、化粧品や機能性食品の開発、薬用植物の栽培技術の確立等に取り組みます。

研究会・セミナー

- ・ロボット研究会
- ・病態薬学研究会
- ・腫瘍薬学研究会
- ・健康食品製造GMP研究会
- ・ロボット研究セミナー
- ・MieLIP 鈴鹿フォーラム

連絡先

鈴鹿医療科学大学
大学事務局 研究振興課
TEL: 059-381-2385

MieLIP 津 (三重県工業研究所)

取り組み概要

MieLIP 津では、医療・福祉機器等の開発の技術支援や新規参入支援、医薬品・化粧品・機能性食品等やそれらの機能性素材を開発する企業への技術支援に取り組みます。

研究会・セミナー

- ・医療機器・福祉機器開発研究会
- ・医薬品・食品機能性素材開発研究会
- ・医療・福祉機器開発セミナー
- ・医薬品・食品等の機能性素材セミナー

連絡先

三重県工業研究所
食と医薬品研究課
TEL: 059-234-8462
ものづくり研究課
TEL: 059-234-4374

MieLIP 伊賀 (三重大学伊賀研究拠点)

取り組み概要

MieLIP 伊賀では、地域の企業と医薬品や医療機器の開発に取り組むとともに、上野総合市民病院が取り組んでいる病態別栄養療法（がん、糖尿病や腎疾患等）プログラムの開発や看護・介護支援ロボットの開発、タブレット端末を利用した在宅医療システム開発等も行います。

研究会・セミナー

- ・環境健康学研究会
- ・健康科学食品研究会
- ・環境・健康・療養・高齢化社会等に対応した新商品開発の研究会
- ・メディカルフォーラム in 伊賀

連絡先

三重大学社会連携研究センター
伊賀研究拠点
TEL: 059-41-1071

MieLIP 多気 (多気町役場)

取り組み概要

MieLIP 多気では、自転車を活用した運動療法や観光資源を活用した運動療法の開発、薬草等の地域資源を活用した医薬品、化粧品、高機能食品等の開発や「医食同源」の考えに基づいた取り組みを推進します。

研究会・セミナー

- ・自転車ツーリズム研究会
- ・食品開発研究会
- ・自転車通勤健康セミナー
- ・MieLIP 多気フォーラム

連絡先

多気町役場 企画調整課
TEL: 0598-38-1124

MieLIP 鳥羽 (鳥羽市役所)

取り組み概要

MieLIP 鳥羽では、海藻等の地域資源を活用した化粧品や機能性食品等の開発とそれらを活用した健康ツリーの開発等、「健康」「美容」等を切り口とした観光都市づくりに取り組みます。

研究会・セミナー

- ・「健康」を体感できる観光都市づくりにかかる勉強会
- ・健康まちづくりセミナー

連絡先

鳥羽市役所 農水商工課
TEL: 0599-25-1156

MieLIP 尾鷲 (尾鷲市役所)

取り組み概要

MieLIP 尾鷲では、海洋深層水や尾鷲ヒノキを活用した化粧品や機能性食品の開発、熊野古道を活用した滞在型健康回復・健康増進プログラム開発等に取り組みます。

研究会・セミナー

- ・地域資源活用による製品開発・健康増進プログラム研究会
- ・尾鷲セラピストの健康増進セミナー

連絡先

尾鷲市役所 商工観光推進課
TEL: 0597-23-8133

MieLIP キックオフフォーラム 開催！

MieLIP 開設のキックオフイベントとして、平成25年9月27日にMieLIP 鈴鹿(鈴鹿医療科学大学白子キャンパス)でフォーラムが開催されました。MieLIP の整備の意義や今後果たすべき役割についての講演が実施されました。



講演

講演 I

「みえライフイノベーション総合特区」における MieLIP の整備と三重大学が果たす役割について
三重大学副学長 西村訓弘 教授

医療を取り巻く環境は大きな転換期を迎えており、個別化医療の推進、遺伝子解析技術の進展等を背景に、バイオ産業にビッグバンが起きると予測されます。三重大学（MieLIP セントラル）は各 MieLIP とともに医薬品や医療機器等の商品開発支援や国内外の販路開拓に取り組んでいきます。

講演 II

『MieLIP 鈴鹿の概要について』

鈴鹿医療科学大学 社会連携研究センター長 鈴木宏治 教授

MieLIP 鈴鹿では、ものづくり企業が数多く集積する鈴鹿市を中心とする北勢地域と医療福祉の学識者を有する本学を中心とした、産学官民の連携により医療・介護機器等の研究・開発に取り組んでいきます。

講演 III

『ロボットスーツHALによるライフイノベーション最前線』

CYBERDYNE(株) 代表取締役 CEO 兼 筑波大学サイバニクス研究センター長 山海嘉之 教授

「ロボットスーツ HAL」は福祉・介護現場での自立動作支援、介護支援への活用が進んでいます。また、過酷な状況下で作業する人のサポートへの応用も考えられ、重作業支援、震災などの非常時におけるレスキュー活動支援など多くの場で「ロボットスーツ HAL」の活用をめざしていきます。



講演後には、今年9月に鈴鹿医療科学大学内にオープンした CYBERDYNE(株)の「ロボットスーツ HAL」を使った福祉用トレーニング施設「鈴鹿ロボケアセンター」の見学会が実施され、参加者は担当者の説明に熱心に耳を傾け、積極的に質問する様子が見受けられました。

見学会後の交流会では、講師の皆様を囲んで活発に意見交換がなされ、産学官民の交流をより深めることができました。